

## 一、再びくり返すな

—全日空機事故—

二月四日、東京湾で百三十三人の生命を奪った全日空事故。あれからたてつづけに空の惨事がくり返えされた。

事故の日から五十三日目、四人の遺体を未収容のまま、築地本願寺では全日空機事故追悼法要が行なわれました。

そして翌三十日、原因究明のため事故技術調査団は、事故当日の機体のコースを再現し、記録するため東京湾へと飛び立ったのです。

457  
一、武蔵野

武蔵野、かつて国木田独歩が散策した頃の面影はいまも随所にその姿を残している。

だが、そのすぐ近くでは、大がかりな宅地造成が進められている。雑木林は切られ、下地をけずられ、それはインクのように急テンポで拡がってゆく。

膨張する東京の人口に対処して進められる住宅造りは、いやおうなく自然を破壊してゆくのだ。住宅政策の無計画性はより一層武蔵野の破壊にはく車をかけていく。都市に住む者にとって自然はまた休息の場として欠くことの出来ないものはずである。

ますます機能化してゆく東京、団地というコンクリートの容器で、かためられてゆく武蔵野、人間が住むために都市と自然のひきさくことの出来ない関係をもういち度考えなおさなければならぬ時ではなからうか。